



すべて良き書物を読むことは、過去の最も優れた人々と会話を交わすようなものである。(デカルト)

平成25年度

秋田県図書館大会開催

6月14日(金)、秋田県生涯学習センターを会場にして、秋田県図書館大会が開かれました。大会テーマ「図書館を元気に!~秋田の図書館活性化の道を探る~」のもと、市町村図書館職員、学校図書館関係者、市町村教育委員会職員など約90名が参加しました。



基調講演する早川氏

始めに、福島県南相馬市立中央図書館副館長の早川光彦氏が基調講演を行いました。図書館サービスの現状と課題、期待される図書館、図書館サービスの理念について、経験を交えたお話がありました。その後、館内施設の特徴や展示・配架の様子などがたくさんの写真を使って紹介されました。写真の中の利用者の表情からも、居心地が良い図書館であることが伝わってきました。



作文募集を広報する小玉氏



桜田氏の語りに聞き入る参加者

続いて、公民館と図書館の事例発表がありました。最初は、三種町の橋本五郎文庫運営委員会会長である小玉陽三氏が、丁寧に作られたホームページに沿って、橋本文庫開設までの経緯やその後の運営状況、課題などを紹介しました。続いて、秋田市立土崎図書館長の桜田隆氏が、図書館のパブリックビューイングで盛り上がったロンドンオリンピック、友の会による図書館を使ったイベントについて語りました。

いずれも、地域の人々の「おらほの〇〇」に対する熱い思いが、図書館での新たな活動を創り出し、図書館を元気にしている事例発表でした。

読書のつとめ2013

乙部順子氏

「小松左京を語る」



生涯学習センターでの講演の様子

6月9日(日)、乙部順子氏の講演会が、秋田県生涯学習センターで行われました。乙部氏は、『日本沈没』の著者である小松左京氏の秘書を34年間に渡って務め、現在、小松左京作品を管理する株式会社イオ・小松左京事務所の代表をしています。

講演では、小松氏との出会い、小松氏の生い立ちや人柄、仕事への情熱や信念について、ユーモアを交えたお話を聞くことができました。

約60名の参加者からは、次のような感想が寄せられました。

□ 「小説を書くだけが作家ではない」と考えていた小松さんの、執筆以外のお話が聞けて大変興味深かった。

□ 小松さんの人間性を聞き、各作品に愛情が表現されていることを知った。

□ 作家本人の話にも関心があるが、この度の講演会のように、傍らにいた人、関わりのある人の話も良いと思った。

講演終了後、県立図書館で開催中の「書籍の世界〜デジタルとアナログの競演」でのギャラリートークがありました。



参加者の質問に丁寧に答える乙部氏

たくさんの方々が講演に引き続いて参加し、小松氏ゆかりの展示品を指さしながら語られる思い出話に聞き入っていました。

アインシュタインを学ぶ“サイエンスカフェ”

in 横手清陵学院高等学校図書館

秋田県立横手清陵学院高等学校では、3年前から、学校図書館で科学好きな子どもたちを育てる「サイエンスカフェ」を開いています。高校生だけでなく、中学生や一般の方も参加が可能です。



サイエンスカフェでの講義の様子

今年度の4回目は6月20日(木)に開催され、博士号をもつ教諭の瀬々将吏先生が、アインシュタインの考えに基づいた「重力の謎」について講義を行いました。重力の思考実験や宇宙論などを、プリントやビデオ、写真、黒板を使いながら説明するだけでなく、参加者に問いかけ、対話しながら興味を引きつけていました。

参加しているみなさんに話を聞くと、「普段の

授業と違う深い科学の内容を学ぶことができる。」(高3男子)「父が宇宙の本をたくさん持っていて興味があったから参加した。」(高1男子)「科学が好きだから楽しい。」(中3女子)といった言葉が返ってきました。また、ラジオで「サイエンスカフェ」のことを知ったという地域の男性は、講義終了後も先生に熱心に質問していました。

図書館の担当者は、「教室やホールでなく、図書館だからこそ、このゆったりとした雰囲気のできるんです。」と話していました。



机の上にはお茶とお菓子



相対性理論の本の展示



ボランティアの活動紹介

「朗読ボランティア いずみ」(にかほ市)

子どもの読書活動優秀実践団体 平成25年度文部科学大臣表彰

「朗読ボランティア いずみ」は、平成8年に発足し、にかほ市立図書館こびあを拠点に活動しています。乳幼児から、児童生徒、大人まで、幅広い層に読書の楽しさを伝えてきました。

現在、保育園、学校、身体障害者施設などで、年間40回を

超えるおはなし会を開催しています。定例のおはなし会や学校訪問だけでなく、市民文化祭でのイベント担当やブックスタート事業の支援、高校生への読み聞かせ指導も行っています。

こういった活動によって、親子の図書室利用が増えたり、読



仁賀保高校生が読み聞かせをしたおはなし会

み聞かせの輪が若い世代に広がったりするようになりました。

県北、県央、県南の地域担当を決めて

「打って出る司書」が全県域を訪問

4月5日より、県立図書館の「打って出る司書」が市町村図書館や公民館図書室を訪問し、地域の読書活動を支援しています。

今年度は巡回訪問を増やすことにしており、4月は延べ46館室、5月は延べ21館室を訪問しました。県立図書館の支援体制を説明したり、課題について相談を受けたりと、実情に応じたサポートが始まっています。

また、出前研修もスタートしました。4月、5月は、4箇所で開催を行いました。

訪問先	研修内容
五城目町中央公民館	ブックトークと読み聞かせ
由利本荘市中央図書館	図書館の基礎
上小阿仁村立図書館	学校図書館の基礎、選書、館内展示のワークショップ
美郷町学友館	資料修理のワークショップ

研修については、随時受け付けておりますので、県立図書館にご相談ください。

秋田県教育庁生涯学習課
生涯学習・読書推進班



URL <http://www.pref.akita.lg.jp/syogaku/>